

令和 4 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,961,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期	R2下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,003	8,917	6,942	5,857	6,875
	移動児童館利用者数	208	155	129	72	175
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※6(6)	※5(5)	※5(5)	※4(4)	7
	開館日数(単位:日)	151	155	151	94	150

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤は計画通り実施 ②所長(正規兼務職員)、正規職員3人(児童厚生員1人 保育士2人)、非常勤職員2名(内体育指導員1名) ③毎月のおたよりは小学校・幼稚園・公民館・北保健センターなどに配布し、ホームページを更新・記載。 ④アンケートの要望に対する回答を館内に掲示。今年度はコロナ禍のため社会情勢を見ながら感染対策を優先しながらの事業を実施。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。誘導灯や警備等は定期保守点検を実施。 ②就労促進事業施設清掃班による施設の清掃を実施。業者による窓ふき・ワックスがけの定期清掃を行った。一日数回職員によるトイレ・備品・おもちゃ・絵本・漫画本の消毒・整頓等定期的に実施。また乗り物に「使いましたカード」を作成。小学生対象の友遊クラブで縮小したあきまつりを開催するための取り組みをした。裏庭の草取りや花壇の整備等、外部清掃にも従来通り心がけた。 ③常時出している工作キットや行事に使う製作の材料等は全て地域の方からいただいた廃材を利用している。後期は在庫のぬりえも子ども達に還元した。あきまつりもSDGsを意識しての開催となった。 使用していない部屋をこまめに換気・消灯。加湿器・空気清浄機を稼働。冷暖房の調節等も一日に数回行う。ペットボトル・トイレトペーパーの芯・牛乳パック等の廃材を利用して工作キットを恒常的に引き続き作成した。 ④建物の老朽化に伴う修理修繕要望や自主修繕等実施。

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①センター事務所の清掃をこまめに行い、模様替えも引き続き行った。2階の遊戯室の壁面の木製部分のささくれを養生した。また幼児室の棚板部分の修繕として白い画用紙をひきリニューアルの自己修繕をした。寒い日におもちゃ図書館の暖房が停止する件は市役所に迅速に伝え対応した。遊戯室の一輪車練習台や一輪車置き場等、劣化による割れを補修した。 ②コロナ禍で子ども達が遊びの制限をされている中でいかに楽しく過ごすことができるのかを職員で精査し、環境整備を心がけた。限りあるスペースを有効利用する事で様々な遊びのスポットを作成した。法人本部に寄贈されるもので児童センターで必要なものに関しては流れてくるシステムとなっている。特に漫画本は定期的に寄贈していただいている。また同じ法人内の多機能施設を利用しながら行事を進めていく事ができる。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③は適切に実施、来館カードや参加者名簿等の管理を厳重にしている。 ②12月に避難訓練を行った。冬場に向けての防災となった。児童館のための新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき、不特定多数の来館者が触れるものは毎日消毒し各部屋清掃・消毒チェックシートを独自で作成し来館者の安心に繋げた。またおむつ替え時に安心できるおむつ替えシートも引き続き設置し、感染対策もしっかりした。

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和4年10月4日～令和4年12月8日 回答者数: 50人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和4年10月9日～令和4年12月27日 回答者数: 50人(小学: 1年11人、2年7人、3年13人、4年10人、5年3人、6年4人) (中学: 1年0人、2年0人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの 実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 長良(16人)、長良東(11人)、長良西(6人)、鷺山(6人)、日野(4人)、常磐(3人)、その他市内(3人)、その他市外(1人) 【年齢】 10代(0%)、20代(12%)、30代(84%)、40代(4%)、50代以上(0%) 【利用頻度】 初めて(4%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(18%)、週1回(18%)、2週に1回(28%)、月1回(24%)、その他(8%) 【来館相手】 子(85%)、孫(0%)、友人(6%)、その他(3%)、無回答(6%) 【子・孫の年齢】 0歳(15%)、1歳(55%)、2歳(17%)、3歳以上(13%) 【来館方法】 徒歩(20%)、自転車(2%)、自家用車(78%)、公共交通機関(0%)、その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(32%)、広報紙・チラシ(8%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(2%)、知人・友人(21%)、ぎふし子育て応援アプリ(12%)、ソーシャルメディア(0%)、その他(17%)、無回答(8%) 【評価】 (あいさつ) 満足(96%)、ほぼ満足(4%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(92%)、ほぼ満足(6%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(94%)、ほぼ満足(6%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 長良小(36人)、長良西小(8人)、長良東小(4人)、その他市内(1人)、無回答(1人) 【学年】 小学: 1年(22%)、2年(14%)、3年(26%)、4年(20%)、5年(6%)、6年(8%) 中学: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)、無回答(4%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(0%)、週4・5回(2%)、週2・3回(22%)、週1回(22%)、その他(52%) 【来館相手】 ひとり(29%)、友人(38%)、兄弟姉妹(18%)、父母(13%)、祖父母(2%)、親戚(0%)、その他(0%) 【来館方法】 徒歩(35%)、自転車(45%)、自家用車(11%)、バス・電車(0%)、その他(0%)、無回答(9%)

	【好きな遊び】 ぬりえ大会(15%)、ゾンビ大会(10%)、カードゲーム(4%)、ボードゲーム(2%)、その他(59%)、無回答(10%)
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	<保護者> ・天気が良ければ公園ですが「しえんしえいあそぶ」と言って児童館に来たがります。いろいろな催しに参加させていただく中で本人にとって良い勉強になり自信や忍耐力が付き良い影響が多く、親として驚くこともありました。今後ともよろしくお願い致します。 ・いつもありがとうございます。他の児童センターより利用しやすく、子どもも楽しそうで、「先生と音楽」と言って来たがっています。今後ともよろしくお願い致します。 ・いつもあたたかく迎えてくださってありがとうございます。子も私も安心できる場です。 ・学生さんのような見やすい名札をつけて下さると名前が覚えやすく良いなと思いました。 →さっそく名札をつけさせていただきます。 (クラブへの意見) ・楽しかったです。丁寧に説明していただき子どもをみてもらって助かりました。 ・いつも楽しい時間をありがとうございます。子どももいつも歩き回って楽しそうなので嬉しいです。 ・身体を動かして楽しく活動出来ました。ありがとうございました。 ・あまり工作とかやったことがないのですが、楽しかったです。丁寧に教えていただきありがとうございました。 ・毎回すごく楽しかったです。来年度も参加したいです。 <児童> ・漫画をもっと →漫画は12月にみなさんの要望を聞いて新刊書をたくさん入れさせていただきました。 ・友遊クラブに参加できる人数をもっと多くしてほしい →友遊クラブは毎年新年度に人数編成します。コロナが緩和したら考えていきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	S	S	S
		区分評価				S
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	・10月に2年ぶりのあきまつりを開催した。今年のあきまつりは4月からSDGsを意識した準備を行った。お出迎えアーチ、ベタベタ工作、輪投げ、B玉ころがし、だるま落とし、魚つり、迷路、ピン球運びレース、各ブースで使用した材料は廃材を活用し工夫することで、よりよい内容になった。友遊クラブの子ども達や夏休みに毎日のように来館してくれた子ども達が、SDGsを意識し廃材を利用して遊びコーナーを作った。当日も感染対策を行いながら、それぞれ楽しむことが出来た。 ・後期のハッピーハッピーサロンでは、法人から保健師であり助産師でもある職員の協力を得て相談事業を専門的な立場からも助言ができる取り組みをした。 ・11月には長良地区の青少年育成会の方が企画する親子ふれあい活動を長良児童センターで行った。センター職員の活動に加えて来年度の母親クラブの発足に向けての説明もさせていただいた。 ・コロナ禍で遊ぶ内容が制限されている中で、一人遊びができるおもちゃ(漫画本・ルービックキューブやバランスゲーム等)を増やした。 ・夏休み終わりに来館している小学生と一緒に製作した宇宙の絵を階段の踊り場の壁面に掲示した。SDGsの取り組みとして廃材を利用した額縁をつけて協同製作として来館者に見ていただく事ができた。自分たちで作ったものなので子ども達自身も興味を持ち来館者の目を引いた。 ・毎日児童センターの周囲の草取りや清掃はこまめにしている。後期は子ども達と裏庭にガーデンレタスの種を蒔き、収穫を楽しみ福光グリーンホームに届けたりした。 - また駐車場の雑草対策で防草シートを張った。同時に裏庭の防草シートも貼り直した。 ・11月から、パパっクラブを再開し、父親の育児参加のきっかけとなった。最初はママから勧められての参加であったが、2回目からは父親自ら申し込みをされるほど人気の行事となっている。 ・友遊クラブで3年ぶりに社会見学に出かけた。地元の鶴匠さんの家を訪ね、各鶴匠の屋号をクイズ形式にするなどして楽しみながら郷土の研究ができた。後でお礼の手紙を書きパネルにして届け鶴匠の家に飾っていただいている。 ・長年子ども会育成会長の方がボランティアで毎月数回子ども達にディアボロや皿回し等を教えるに来ていただく場面では1つの遊びに子ども達も集中するため、そういった機会をとらえて子ども達と様々な会話をし児童センターへの意見等を言ってもらう場になっている。 ・パブリカタイム・クイズラリー・工作キット・けん玉検定等毎日できる遊びをコロナ禍になってから地道に積み上げた物が今では人気の遊びとなっている。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	・引き続き相談事業をより充実できるように毎回工夫を凝らして開催している。コロナ禍で孤立しがちな子育てを豊かなものにできるようにとの目的であったが、口コミで浸透しているのかおたよりを出してすぐに一杯になりキャンセル待ちになるほど人気ができる行事となってきた。親子のふれあい遊びを取り入れたり、保健師であり助産師である職員が相談にのる事で、より専門性が加わった事も人気の要因になっている。 ・パパっクラブも今年度始まった行事であるが、パパの育児参加を浸透させる活動となり、より深く父親が子ども達を理解し遊び方も知る事ができると目的を持って活動している。 ・パブリカタイムやけん玉検定等、毎日決まった時間に1日2回づつ声を掛け合い活動をすることでルーティンとなり子ども達の運動不足解消となっている。 ・小学生から遊びに誘われたら必ず職員と一緒に遊べるように体制作りを心掛けている。その心掛けによって信頼関係ができ、小学生の来館数のアップにもつながっている。 ・今年あきまつりが2年ぶりに開催された。感染対策をしながらSDGsの目標を取り入れ廃材を存分に使い、遊びのブースを作った。夏休みから子ども達と共にSDGsを意識しながら作り上げたあきまつりは貴重な経験であったと考える。お出迎えアーチ、ベタベタ工作、輪投げ、B玉ころがし、だるま落とし、魚つり、迷路、ピン球運びレース、各ブースで使用した材料は、廃材を活用し工夫することで、より良い内容となった。 ・東側の駐車場の雑草対策で、防草シートを敷いた。 ・福光グリーンホームとの関わりの中でお互い気にかけており、先方からは入所者の方の手作りの品を頂き、今期こちらからは畑の野菜を持っていき交流を深めた。
今後の取組み	・来年度パブリカタイムは2年間同じ曲を使用したのでアンパンマンのサンサン体操に移行する ・感染症の状況を見て、柔軟に参加人数の増減をしていく。 ・今年度始まったハッピーハッピーサロン・パパっクラブ・けん玉検定に関しては、継続する事で活動を浸透させ充実した内容にしていく。 ・感染症対策が緩和していくことを見越して行事の参加人数や実施回数・おもちゃの利用制限も可能な限り緩和していく。

●所管課の意見

○秋祭りではSDGsを意識した活動を実施したり、パパの育児参加を促すためパパっクラブを開催したりするなど、積極的に業務改善や新規事業の実施に努めている。 ○地元の様々な施設と交流を行うなど、地元の各団体と連携して事業を実施している。 ○地元のボランティアの方に遊びを教えてもらう事業を行うなど、地元の人材の活用に努めている。 ○地元の方などから廃材を提供してもらい、その廃材を活用して工作キットを作成したりするなど、管理経費の縮減に取り組んでいる。
--

●指定管理者評価委員会の意見

管理運営については適正になされている。 日々、子どもとの信頼関係の構築に努めている点を評価する。
--